

令和7年度 第2回 福井県医療審議会	資料2
令和8年3月24日(火) 19時～	

# 地域医療構想について

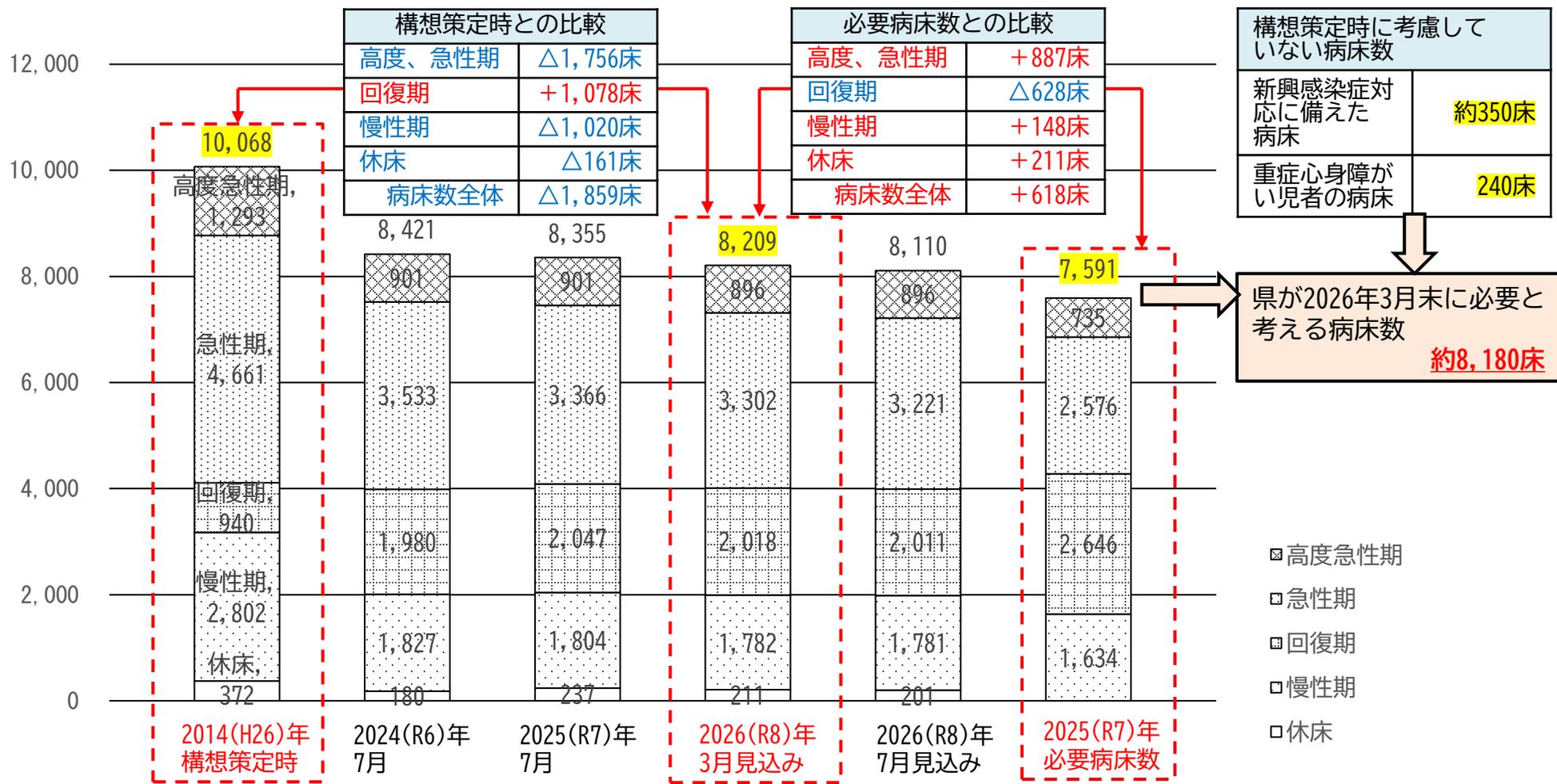
## 目次

- |                                |          |
|--------------------------------|----------|
| (1) 現行の地域医療構想の進捗、今後の方向性について    | P 2～ 4   |
| (2) 新たな地域医療構想の策定に向けた事前準備等について  | P 5～ 11  |
| (3) 令和8年度 紹介受診重点医療機関の選定について    | P 12     |
| (4) 令和8年度 単独支援給付金支給事業の申請状況について | P 13     |
| (5) 地域医療構想調整会議での主な意見           | P 15～ 16 |

### <参考>

- |                                |          |
|--------------------------------|----------|
| (1) 令和7年度 地域医療構想に係る各医療機関の対応方針等 | P 17～ 31 |
| (2) 令和7年度 外来機能報告 結果概要          | P 32～ 36 |

# 現行の地域医療構想の進捗状況（病床数）に対する県の考え方



- **現行の地域医療構想**は2025年（2026（令和8）年3月末）の医療需要推計を基に算定した**必要病床数をひとつの目安**に推進
- **2026年3月末の病床数は8,209床の見込み**。県が必要と考える**約8,180床**に対して概ね適正な病床数を確保
- **病床数全体では構想は順調に進捗**。一方で、病床機能を見た場合は依然として急性期が多く、回復期が不足見込みであることから、**引き続き医療機能の転換や医療機関の役割分担・連携に係る協議が必要**

# 医療・介護連携に関する協議状況

- 現行構想では「**急性期から回復期・慢性期への転院、入院から在宅・介護への移行が円滑ではない**」という意見がある
- 令和6年度に医療機関、施設、市町を対象に詳細を調査、課題を整理
  - **介護施設等における医療的行為、ACP／人生会議の普及、在宅医療を担う医師・診療所の不足**などの課題
- **令和7年度は地域ごとに協議を実施**。協議を踏まえて、**具体的な対応策の試行、セミナー開催**等により課題を共有

## 【事例紹介】 坂井地域の具体的な対応 <介護施設等における医療的行為に関する課題と対応>

### <現状>

- 喀痰吸引などが必要な患者は介護施設での受入れが難しい

### <背景>

- 介護施設の看護師不足
- 医療的行為ができる介護職の不足、実施の不安

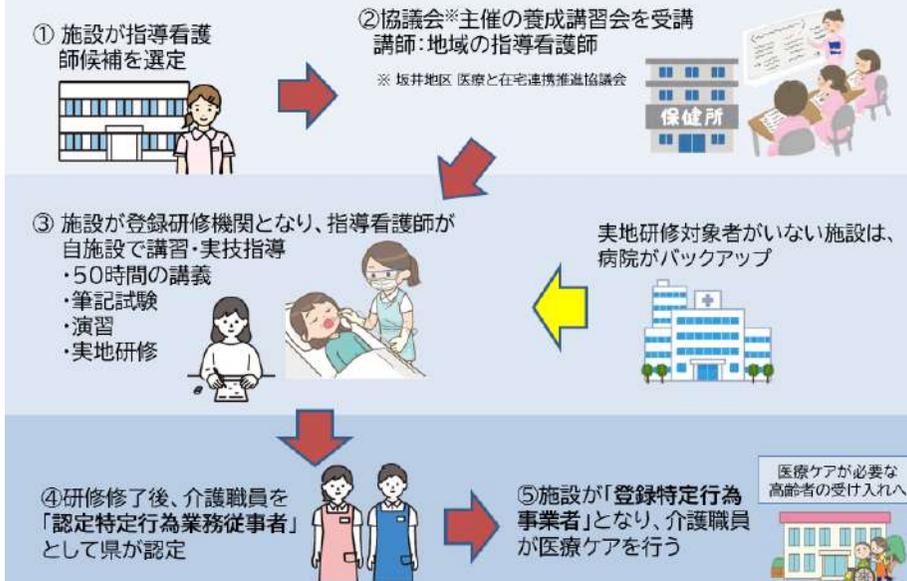
### <具体的な対応> (右図)

- 坂井地域において、医療的行為ができる介護職を指導する看護師を養成
- 介護職が研修を行える登録研修機関を増やす取組みを試行

### <成果>

- 坂井地域の取組による指導看護師の認定者数22名(全体56名)
- 登録研修機関として新たに5施設(介護老人保健施設など)が登録

## 研修制度の流れ



- **坂井地域の具体的な対応策など有効な取組み**については、地域特性に配慮しつつ、**全県展開を検討**
- 地域ごとの協議を踏まえ、訪問看護ステーションの機能・連携強化や、通所介護事業所等の多機能化などによる**課題解決策を、令和8年度県当初予算で事業化**

# 新たな地域医療構想に向けた医療・介護連携推進の体制について

- 「かかりつけ医機能報告」で得られたデータを基に、**地域で必要なかかりつけ医機能をどのように確保するかについて具体的方策を検討**。検討にあたっては、**令和7年度に実施した地域ごとの協議を継続・発展**、地域医療構想調整会議で取り上げられた課題も踏まえて、**各保健所単位で「医療・介護連携会議」を開催し、地域ごとに必要な対応策を協議・実行**
- 課題の共有や対応策の検討にあたっては、**各会議体と連携して様々な関係者の知見を活用**

福井県医療審議会（在宅医療検討部会）  
【福井県医療計画に反映】

地域医療構想調整会議  
【全体方針・課題提起・進捗共有】  
(課題例：医療的行為、在宅医師、ACP普及など)

課題の提起・不足機能の共有

対応策の共有・全県横展開の推進

**地域医療構想にかかるWG(医療・介護連携会議)**

【地域ごとの具体的方策の協議・実行】

(令和7年度:各HWCで協議を開始 → 令和8年度:地域医療構想にかかるWG(医療・介護連携会議)として協議継続)

※各健康福祉センターで  
2~3回の実施を想定

※医療法第30条の18の5において  
協議の場が求められている

かかりつけ医機能報告制度に基づく「外来医療に関する協議の場」として位置づけ

多職種連携に関する課題の共有

意見共有・地域取組みの推進

連携

福井県在宅医療センター連携協議会

【多職種連携の推進・施策議論】

(看護、ケアマネ、リハビリ等、広範な団体が参画)

関係団体と連携

在宅医療サポートセンター

(医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会)

各市町在宅医療・介護連携推進会議

介護施設に関する意見照会・周知活動の場

介護人材確保対策協議会・介護現場革新会議

老人福祉施設協議会施設長会議

集団指導 など

# 新たな地域医療構想の策定の方向性

## 方向性

- 2040年以降の人口・医療ニーズを見据え、入院だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携、医師・看護師など人材確保まで視野に入れた、医療体制全体の構想
- 「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制を構築

## 新たに追加された取組みや制度（主なもの）

- 外来、在宅医療、介護との連携
  - 2040年を見据えた必要病床数の推計
  - 「回復期機能」が「包括期機能」に位置付け変更
  - 医療機関機能報告制度の開始
  - 構想区域の点検と見直し
  - 市町の調整会議への参画
  - 精神医療を新たな地域医療構想に位置付け
  - 医療機関機能に着目した地域医療介護総合確保基金による支援
- ※ 青字について「医療法等の一部を改正する法律」が令和7年（2025年）12月12日に成立（参考資料：p3、p4）

## 国が想定する策定スケジュール

（参考資料：p2）

令和8年度（2026年度）	令和9年度（2027年度）～令和10年度（2028年度）
<ul style="list-style-type: none"><li>地域の医療提供体制全体の方向性の検討</li><li>将来の病床数の必要量の推計 等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>医療機関機能に着目した地域医療の医療機関の機能分化・連携の協議、病床の機能分化・連携の協議 等</li></ul>

新構想の基礎を固める年

### 令和8年度の具体的な取組み（想定）

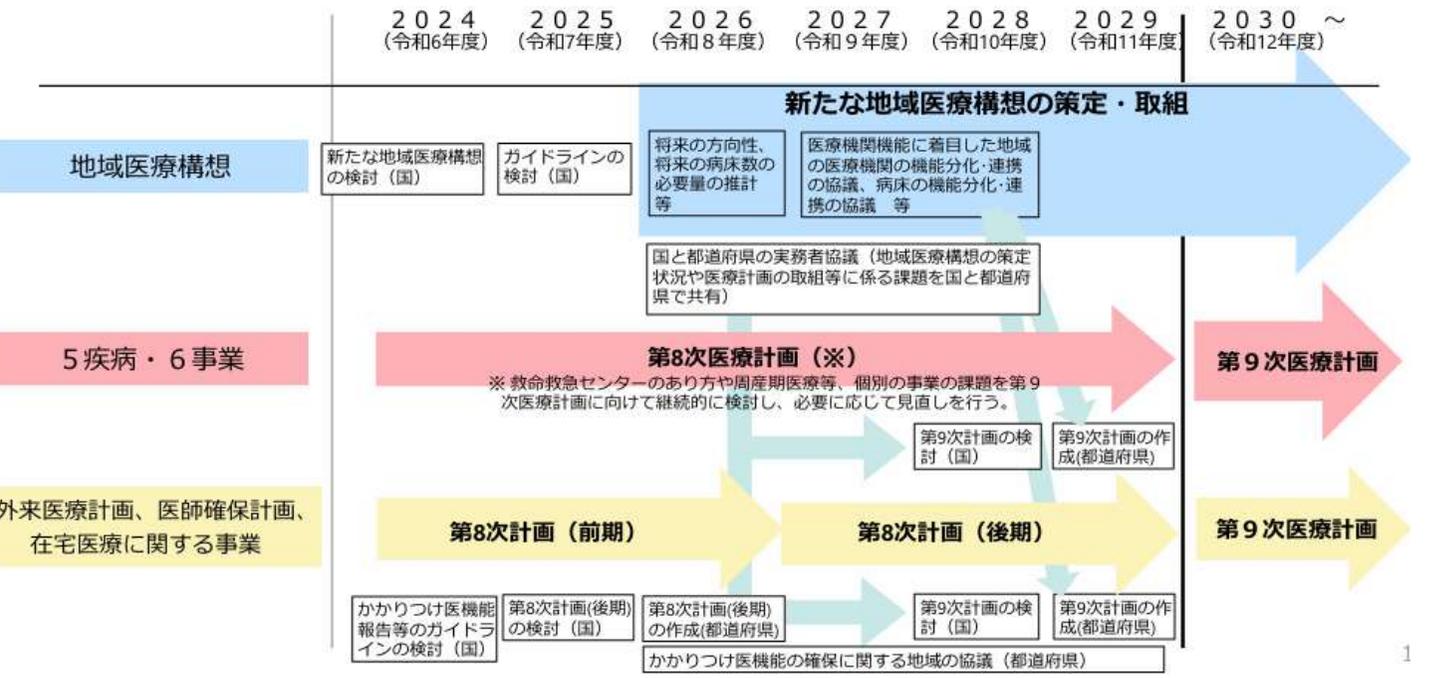
令和10年度には新構想の取組を開始

- 早期リハビリや急性期の一部を含む「包括期機能」の新設を踏まえた病床機能報告（例年10月～11月報告）
- 国の算定式を踏まえた必要病床数の推計（算定式が示される時期は未定）
- 医療機関機能報告の開始に向けた準備と報告（令和8年度報告は10月開始の見込み）
- 構想区域の点検と見直し

## 令和7年度第2回地域医療構想調整会（2/16～3/12、県6保健所単位で開催）における説明の概要

- 上記(3)、(4)は地域での協議を得て進める必要があるため、協議のポイントになる急性期拠点機能の評価の方向性と、それを踏まえた本県の策定スケジュール(案)について御意見をいただいた。

# <参考> 新たな地域医療構想の策定スケジュール



**R8：基礎データ整備・区域点検**

- 病床機能報告(包括期への対応)
- 必要病床数の推計(国の算定式に基づく)
- 医療機関機能報告(新制度)
- 急性期拠点機能の評価
- 構想区域の点検・見直し(人口規模20~30万人目安)

↓ データ整備・区域別の方向性整理

**R9~10：役割分担・連携の協議**

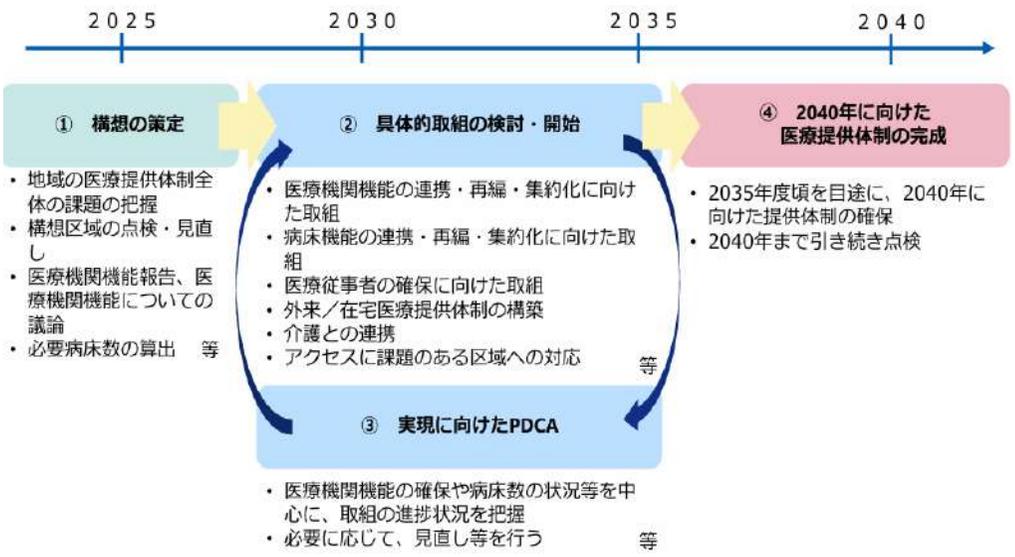
- 構想区域ごとに、医療機関の「医療機能」をもとに役割分担を議論
- 急性期拠点機能の配置の妥当性を協議
- 包括期機能の確保・在宅支援との接続
- 医師・看護師・介護人材等の確保に向けた施策検討

↓ 区域別の医療提供体制の方向性を確定

**R10~：新構想の開始**

- 新たな地域医療構想の取組開始
- 各医療機関の役割に応じて連携・再編を本格推進
- 進捗管理・課題抽出・継続的な地域協議

新構想は医療計画の上位概念に位置づけが変わる。新構想に即して医療計画の具体的な取組を進める。(現在は、地域医療構想は医療計画の一部)



# 医療機関機能報告制度の開始、機能区分

## 取組の方向性

- 地域の実情に応じて、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確にし、医療機関の連携・再編・集約化を進めるため、令和8年度から新たな報告制度が開始
- 病院、有床診療所が地域で求められる役割に応じた「医療機関機能」を都道府県に報告（令和8年10月1日施行）

地域ごとの機能	機能の内容	協議・報告の検討データ（例）
急性期拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域での持続可能な医療従事者の働き方や医療の質の確保に資するよう、<u>手術や救急医療等の医療資源を多く要する症例を集約化した医療提供</u>を行う。</li> </ul>	※ 地域シェアも考慮 • 救急車受入件数 • 全身麻酔手術件数 • 医療従事者数 等
高齢者救急・地域急性期機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>高齢者をはじめとした救急搬送</u>を受け入れるとともに、必要に応じて専門病院や施設等と協力・連携しながら、<u>入院早期からのリハビリ・退院調整等</u>を行い、早期の退院につなげ、退院後のリハビリ等の提供を確保する。</li> </ul>	• 地ケア病棟入院料等の届出状況 • 介護施設との連携 • 医療従事者数 等
在宅医療等連携機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域での在宅医療の実施、他の医療機関や介護施設、訪問看護、訪問介護等と連携した24時間の対応や入院対応を行う。</li> </ul>	• 訪問診療、訪問看護の提供状況 • 介護施設との連携 等
専門等機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上記の機能にあてはまらない、集中的なりハビリテーション、高齢者等の中長期にわたる入院医療機能、有床診療所の担う地域に根ざした診療機能、一部の診療科に特化し地域ニーズに応じた診療を行う。</li> </ul>	• 回りハ病棟入院料、療養病棟入院料等の届出状況 • 有床診療所の病床数 等
広域な機能	機能の内容	
医育及び広域診療機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大学病院本院が担う、広域な観点で担う常勤医師や代診医の派遣、医師の卒前・卒後教育をはじめとした医療従事者の育成、広域な観点が求められる診療を総合的に担い、また、これらの機能が地域全体で確保されるよう都道府県と必要な連携を行う。</li> </ul>	

# 医療機関機能報告と構想区域の点検・見直し

区域	現在の人口規模の目安	急性期拠点機能	高齢者救急・地域急性期機能	在宅医療等連携機能	専門等機能
大都市型	100万人以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に複数医療機関を確保</li> <li>都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する</li> <li>※人口20万人～30万人毎に1拠点を確保することを目安とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者救急の対応の他、頻度の多い一部の手術についても対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療所による在宅医療の実施が多い場合、そうした診療所や訪問ステーション等の支援</li> <li>高齢者施設等からの患者受入等の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の診療科に特化した手術等を提供</li> <li>有床診療所の担う地域に根ざし</li> <li>た診療機能</li> <li>集中的な回復期リハビリテーション</li> <li>高齢者等の中長期にわたる入院医療等</li> </ul>
地方都市型 嶺北	50万人程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の手術等の医療需要を踏まえ、区域内に1～複数医療機関を確保</li> <li>都道府県からの依頼等を踏まえ、地域の医療機関へ医師を派遣する</li> <li>※人口20万人～30万人毎に1拠点を確保することを目安とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者救急の対応</li> <li>手術等が必要な症例については地域の医療資源に応じて、急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の在宅医療の提供状況に応じて、在宅医療・訪問看護の提供や後方支援を実施</li> <li>高齢者施設等からの患者受入れ等の連携</li> </ul>	
福井・坂井	～30万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術等の医療資源を多く投入する医療行為について集約化し区域内に1医療機関を確保する</li> <li>地域の医療資源に応じて、高齢者救急・地域急性期機能や在宅医療等連携機能をあわせて選択することも考えられる</li> <li>※大学病院本院が区域内にある場合、大学が担う医療の内容等を踏まえた上で、必要に応じて大学病院本院と別に医療機関を確保しうる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療資源の範囲内で高齢者救急の対応</li> <li>手術等が必要な症例については急性期拠点機能を有する医療機関へ搬送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療所による在宅医療の実施が少ない場合、自ら在宅医療や訪問看護を提供</li> <li>高齢者施設等からの患者受入れ等の連携</li> </ul>	
人口の少ない地域 丹南 嶺南 奥越	※20万人未満の地域については、急性期拠点機能の確保が可能なかどうか等について特に点検し、圏域を設定				

※ 地域の実情に応じて、複数の医療機関機能の選択が可能

※ 区域の人口規模については、現在の人口規模に加えて、必要に応じて2040年の人口等も踏まえながら、どの区域に該当するか等を地域で検討

区域	2020年	2030年	2040年	2050年
嶺北	632,190 人	581,830 人	531,351 人	478,465 人
福井・坂井	397,298 人	370,125 人	342,236 人	312,136 人
奥越	53,436 人	45,045 人	37,244 人	29,970 人
丹南	181,456 人	166,660 人	151,871 人	136,359 人
嶺南	134,673 人	120,889 人	107,831 人	94,420 人
計	766,863 人	702,719 人	639,182 人	572,885 人

国のスケジュールでは、遅くとも令和10年（2028年）までに急性期拠点機能を報告する医療機関を決定することを想定

令和7年8月27日 第3回 地域医療構想及び医療計画等に関する検討会 資料、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）を基に作成

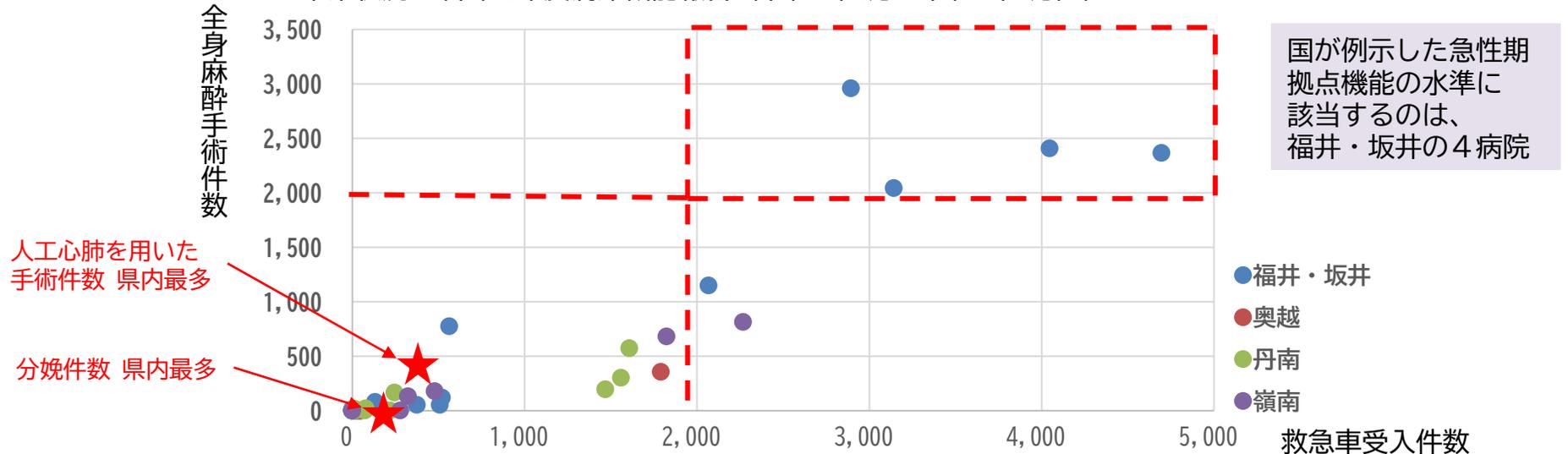
# 令和8年度 新構想策定の論点整理

## 令和8年度の主な論点

- ① どの医療機関が急性期拠点機能を担うか。
- ② 構想区域内で急性期拠点機能を担う医療機関があるか。
- ③ 構想区域内で急性期拠点機能を担う医療機関がない場合は、構想区域の見直しや、区域外の病院による補完等を含めて、どのように対応するか。

①～③の検討にあたって、「急性期拠点機能」をどのような指標で評価するか明確化が必要

<例> 国が「急性期拠点機能」の水準として示した「救急車受入2,000件/年、全身麻酔手術2,000件/年」の本県状況（令和6年度病床機能報告（令和5年4月～令和6年3月））



- 救急受入件数や全身麻酔手術件数といった量的指標だけでは、幅広い疾患への対応力、手術の難易度・専門性、24時間救急やICUを含む地域医療への貢献度、交通アクセスや地域シェアといった地域特性を十分に評価できない。
- 量的指標に加えて「総合性」「質」「連携力」「地域特性」等を組み合わせ、多角的に急性期拠点機能を評価してはどうか。

量的指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急車受入件数</li> <li>全身麻酔手術件数 など</li> </ul>
------	--



<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、全身麻酔手術件数が多くても、特定領域（整形外科など）に偏っている場合もあり、<u>幅広い疾患への対応力は不明</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数だけでは<u>手術の難易度や専門性を評価できない</u>。例えば、人工心肺を使う心臓手術は高度だが件数は少ないため、単純な件数では過小評価される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>24時間救急対応、ICU体制、医師派遣など地域医療への貢献度</u>について、件数だけでは、こうした「ハブ機能」を測れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口規模や疾病構造により、件数の水準を満たせない病院でも、<u>地域シェアや交通アクセスを見れば、地域に欠かせない役割</u>を果たしている。</li> </ul>
--	---	---	---



総合性 (幅広い疾患対応力)	質 (医療の高度性・難易度)	連携力 (地域医療への貢献)	地域特性 (人口・疾病構造・地理条件)
<ul style="list-style-type: none"> <li>診療科の数・構成</li> <li>常勤医師数</li> <li>DPCカバー率 (どれだけ多様な疾患に対応しているか。医療の専門性・難易度にも留意)</li> <li>年間入院患者数</li> <li>急性期病床数・稼働率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全身麻酔手術件数</li> <li>手術難易度指標 (外保連手術指数等)</li> <li>ICU、HCUの整備状況、稼働率</li> <li>高度医療機器の保有状況 (人工心肺、血管造影装置等)</li> <li>専門領域の実績 (心臓手術、脳内血栓除去術件数等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急車受入件数・時間外受入割合</li> <li>救急搬送の症状別の地域シェア (どの地域から、どのような症状の救急を受けているか)</li> <li>医師派遣実績</li> <li>地域医療連携室の機能・紹介率・逆紹介率</li> <li>災害・感染症への対応体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域人口・高齢化率・疾病構造 (循環器疾患、分娩等需要)</li> <li>地理的アクセス (山間部、豪雪地帯等)</li> <li>地域内の医療資源分 (他病院との距離、診療所を含めた役割分担等)</li> <li>搬送時間・救急医療体制の実効性</li> </ul>



持続可能で自律した経営（経営の健全性、組織の成熟度）



患者や地域住民、連携医から支持される医療

# 令和8年度 新構想策定の主な工程（案）

令和8年度目標：急性期拠点機能の候補整理と構想区域ごとの対応方針の整理

時期	国ガイドライン等に準拠して進める取組み		地域の協議を得て進める取組み	
	病床機能報告	必要病床数の推計	医療機関機能報告	構想区域の点検・見直し
令和8年3月	・国ガイドライン公表。県内関係者へ周知（これ以降、必要に応じて国通知等を周知）			
4月～7月			・急性拠点機能を評価するための指標や構想区域の点検に必要な調査・分析、意見照会等を実施	
7月下旬～8月上旬	第1回地域医療構想調整会議			
	・「包括期機能」の基準や、報告制度の改善等の情報があれば説明	・必要な事項があれば協議	・調査・分析、意見照会等を基に、区域内の医療機関が担っていると推測される医療機関機能を確認 ・区域内で急性期拠点機能を担う医療機関がない場合の対応案を検討。ある場合も他区域との関係等について検討	
8月下旬	第1回医療審議会（新構想の策定状況を説明）			
9月		<想定> ・国が算定式を提示 （第8次医療計画の基準病床数の算定式はR5.10月に最終確定）	・調整会議、審議会での意見を踏まえて追加の調査・分析、意見照会等を実施 ・医療機関機能報告に資する情報を対象医療機関へ共有	
10月～	・報告（例年制度の改定）		・報告（新規制度の開始）	
11月下旬～12月上旬	第2回地域医療構想調整会議			
		・推計した必要病床数を説明	・追加の調査・分析、意見照会等を基に区域の対応案を精査	
12月下旬	第2回医療審議会（新構想の策定状況を説明）			
令和9年1月	・県へ報告内容を提供依頼		・県へ報告内容を提供依頼	・必要に応じて追加の調査・分析、意見照会等
2月下旬～3月中旬	第3回地域医療構想調整会議			
	・提供いただいた報告内容と推計した必要病床数を比較 ・今後検討すべき課題、取組みの方向性等について協議		・これまでの検討を踏まえて、区域内で急性期拠点機能を担う医療機関がない場合の対応を決定 ・提供いただいた報告内容を基に今後検討すべき課題、取組みの方向性等について協議	
3月下旬	第3回医療審議会（新構想の策定状況を説明）			

# 令和8年度 紹介受診重点医療機関の選定

- **外来機能報告の結果**をもとに、**紹介受診重点医療機関となる意向を示した医療機関**について、選定を協議
- 選定の基準は「**初診の外来件数のうち重点外来の占める割合40%以上**」かつ「**再診の外来件数のうち重点外来の占める割合25%以上**」
- 基準を満たさない場合、「**紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上**」、「**当該医療機関の機能**（特定機能病院、地域医療支援病院等）」、「**外来医療の実施状況**」や「**地域性等**」を参考

## 【令和8年度に紹介受診重点医療機関となる意向を示した医療機関の令和7年度外来機能報告の結果概要】

医療機関名称	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
			初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
			(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
福井大学医学部附属病院	○	○	13,880	8,579	61.8	197,471	57,563	29.2	14,974	13,277	11,013	88.7	73.5
福井循環器病院		○	3,844	2,980	77.5	39,430	8,442	21.4	4,265	2,852	4,246	66.9	99.6
福井県済生会病院	○	○	14,221	8,846	62.2	183,638	71,885	39.1	14,997	10,323	17,026	68.8	113.5
福井県立病院	○	○	18,373	11,793	64.2	165,166	56,339	34.1	16,650	15,718	19,921	94.4	119.6
福井県こども療育センター			1,156	76	6.6	19,921	390	2.0	1,012	973	330	96.1	32.6
福井総合病院	○		1,861	904	48.6	7,952	3,269	41.1	4,077	1,226	2,335	30.1	57.3
福井赤十字病院	○	○	16,006	9,616	60.1	168,809	57,324	34.0	16,133	12,017	15,423	74.5	95.6

制度開始前から増加した数値は赤色網掛け

- 上記の7つの医療機関は、現在、紹介受診重点医療機関に選定されている。
- **基準、参考水準を満たす、特定の医療機能（医ケア見受入など）の役割分担が進む**等の決定理由があるため、**引き続き、令和8年度も紹介受診重点医療機関に選定**
- 一般病床200床以上の医療機関（青字）は、選定療養費（紹介状なしで受診する場合の定額負担7,000円（税込7,700円）以上の請求が義務付け
- **紹介・逆紹介患者数、紹介率・逆紹介率の増加**が確認でき、**医療機関の機能分化、役割分担に効果があった**と考える。

# 令和8年度 単独支援給付金支給事業の申請状況

## 1. 単独支援給付金支給事業

医療機関が、地域の関係者間の合意の上、地域医療構想に即した病床機能再編を実施する場合、減少する病床数に応じた給付金を支給することにより、地域医療構想の実現に向けた取組を支援する。

### 支給対象

平成30年度病床機能報告において、平成30年7月1日時点の病床機能について、高度急性期機能、急性期機能及び慢性期機能（以下「対象3区分」）と報告した病床数の減少を伴う病床機能再編に関する計画（以下「単独病床機能再編計画」）を作成した医療機関の開設者又は開設者であった者。

### 支給要件

- ① 単独病床機能再編計画について、地域医療構想調整会議の議論の内容及び都道府県医療審議会の意見を踏まえ、都道府県が地域医療構想の実現に向けて必要な取組であると認めたものであること。
- ② 病床機能再編を行う医療機関における**病床機能再編後の対象3区分の許可病床数が、平成30年度病床機能報告における対象3区分として報告された稼働病床数の合計の90%以下**であること。

### 支給額の算定方法

- ① 平成30年度病床機能報告において、対象3区分として報告された病床の稼働病床数の合計から一日平均実働病床数（対象3区分の許可病床数に対象3区分の病床稼働率を乗じた数）までの間の病床数の減少について、**対象3区分の病床稼働率に応じ、減少する病床1床当たり下記の表の額を支給。**
- ② 一日平均実働病床数以下まで病床数が減少する場合は、一日平均実働病床数以下の病床数の減少については2,280千円/床を支給。
- ③ 上記①及び②の算定にあたっては、以下の病床数を除く。
  - ・回復期機能、介護医療院に転換する病床数
  - ・同一開設者の医療機関へ病床を融通した場合、その融通した病床数
  - ・過去に令和2年度病床機能再編支援補助金における病床削減支援給付金及び本事業の支給対象となった病床数

### イメージ



医療機関	開設者	管理者	病床削減の内容			
			削減前（平成30年度）	削減後（令和8年度）		
市立敦賀病院 （敦賀市三島町1丁目）	敦賀市	新井 良和	高度急性期	6床	高度急性期	6床
			急性期	253床	急性期	204床 (Δ49床)
			回復期	71床	回復期	71床
			慢性期	0床	慢性期	0床
			休床	0床	休床	0床
			合計	330床	合計	281床 (Δ49床)



# 地域医療構想調整会議での主な意見（地域医療構想に関すること）①

調整会議	主な意見
福井地域 (3月12日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期拠点機能については、件数だけでは評価できず、DPCカバー率だけでなく症例構成やDPC本体の評価、専門性・難易度等を総合的にみるべき。</li> <li>また、患者・住民の評価や連携医からの視点に加え、経営の健全性・組織の成熟度なども勘案すべき。</li> <li>さらに、福井地域は周辺区域からの受療が多く、救急患者の流入も踏まえ、区域を越えた医療提供の実態を評価に反映すべき。</li> <li>福井地域の4病院は働き方改革による医師確保の厳しさの中でそれぞれ役割を担っており、4病院の機能分担と連携の確立が今後の課題</li> <li>医療・介護連携では、県がデータ分析や他地域の成功事例を共有し、課題の深掘りや協議の加速を支援してほしい。</li> <li>必要病床数が再算定されると、包括期の導入により急性期は減少、包括期が増加する見通しであり、2040年の入院需要を踏まえ地域全体での病床機能の再編を整理すべき。</li> </ul>
坂井地域 (3月9日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期拠点機能や診療科のすみ分けについて、福井市の大規模病院が担う領域と、地域医療として維持すべき領域を整理し、まず大枠の枠組みを定めたうえで役割分担を議論すべき。</li> <li>人口減少と医師・看護師の確保困難を踏まえ、医療人材の増加だけではなく、効率的な育成・配置や役割分担による持続可能な体制づくりが必要</li> <li>希少性の高い医療（小児・周産期・脳卒中等）については広い区域で検討する必要がある、それらの拠点機能を定めたうえで区域を整理すべき。</li> <li>訪問看護では、小規模事業所が多く夜間・緊急対応が困難な実態があり、受入拒否の実態把握や条件を整理した調査、機能強化型・連携体制の構築など、具体的な改善策が必要</li> <li>新構想では包括期が拡大し急性期が減少する方向性が示される中、診療報酬改定とも整合させつつ、地域が困らず医療機関が持続可能となる体制を議論すべき。</li> </ul>
奥越地域 (3月7日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期拠点機能については、国の例示基準を満たす医療機関が県内でも限られる。豪雪・山間といった地域特性や救急医療の実態を踏まえ、多角的に評価すべき。</li> <li>構想区域20～30万人を目安とすると、奥越単独での区域設定は現実的でなく、福井地域との受療構造も踏まえた広域的な検討が必要</li> <li>高齢化により福井市内での受入逼迫により、奥越からの搬送受入が難しくなる懸念がある。勝山総合病院の救急搬送は増加している中、広域での役割分担の明確化と救急対応の整理が必要</li> <li>医療・介護連携では、医療依存度の高い在宅利用者の受入先不足、訪問看護ステーションの少なさ・人材不足、夜間対応の負担などが課題。柔軟な連携モデルや医療的ケアができる施設の周知強化が必要</li> <li>在宅療養を継続するためには、24時間訪問看護やレスパイト入院を組み合わせた体制づくりが不可欠。家族負担の軽減と受け皿確保が急務</li> <li>構想区域の点検・見直しや二次救急・高齢者救急・在宅などの複数機能の選択は人口の少ない地域共通の課題。診療報酬との整合も踏まえ、地域で最適な機能の組み立てを行う重要な時期である。</li> </ul>

## 地域医療構想調整会議での主な意見（地域医療構想に関すること）②

調整会議	主な意見
<p>丹南地域 (3月4日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>病床機能区分と医学的な急性期・回復期の概念が混在して議論が複雑化しており、がんを含む5疾病の幅広さや診療科による対応可能範囲の違いも踏まえ、より実態に沿った整理が必要</li> <li>丹南地域には高度な急性期医療を担う医療機関は少なく、高齢者救急や包括的医療にシフトしている現状から、専門診療は福井・坂井への搬送が増加しており、医療圏の点検・見直しは避けられない。</li> <li>急性期を福井地域へ集約しすぎると、丹南地域の医療が送り出すだけになりかねず、地域として完結できる機能を一定程度維持する必要がある。</li> <li>医療・介護連携では、訪問看護・訪問介護の人材不足や地理的条件による非効率など、地域特性を踏まえた支援が必要。ネットワーク化による負担分散や実効性の高い在宅支援体制を求める意見があった。</li> <li>かかりつけ医機能報告制度は現場の認識と乖離があり混乱を招いている。制度の目的整理や、県から国へのフィードバックをお願いする。</li> <li>新構想では包括期の拡大により急性期が減少、包括期が増加する方向性。丹南地域の病院が連携して拠点機能を分担するなど、人口減少下でも地域が困らず医療機関が持続可能である体制づくりが必要</li> </ul>
<p>二州地域 (2月25日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二州地域では市立敦賀病院が急性期・救急の中核を担う一方、軽症初診の集中や回復期受入の不足により、本来の急性期機能が圧迫されており、地域全体で役割分担の徹底が必要</li> <li>急性期拠点機能の評価については、緊急疾患への対応力に加え、専門性・難易度の高い治療をどこで担うかが重要。嶺南全体の人口規模や医療資源を踏まえた現実的な拠点の在り方を検討すべき。</li> <li>若狭地域との合同議論や嶺南全体での機能整理が必要。二拠点体制のままでは双方が中途半端となり得るため、拠点の選択と病院間連携のあり方を協議すべき。</li> <li>医師確保では救急専門医の不在や全科医師による救急対応の負担が課題。若手医師が技能を維持し成長できる症例規模の確保など、教育・人材育成の視点も構想区域の検討に不可欠</li> <li>医療・介護連携については、地域の理解を踏まえた段階的な取組が必要</li> <li>病床削減後も救急受入や在院日数は大きく悪化していないものの、高齢化と入院需要の増加を見据え、包括期機能の強化と機能分担の整理を進めるべき。</li> </ul>
<p>若狭地域 (2月16日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期拠点機能の確保について、若狭地域単独ではなく、嶺南全体や二州地域と一体で議論すべき。人口規模・アクセス・嶺北偏在を踏まえた現実的な検討が必要</li> <li>急性期拠点機能は件数だけでは測れず、手術の難易度や専門性、症例実績の経年評価が重要。国の指標も踏まえつつ、地域の合意形成で柔軟に判断すべき。</li> <li>若狭・二州双方に急性期拠点機能を維持する場合の財政負担に懸念がある。嶺南全体で重複のない体制整備や病院の役割分担を進めるべき。</li> <li>医療・介護連携では、連携ツール「つぐみ」の引継ぎの在り方、ACP の理解不足、人材高齢化などが課題。訪問看護・在宅医・ケアマネ等の担い手確保が急務</li> <li>介護・福祉人材の不足について、福祉を学べる教育機会の地域差、若年層の県外流出、現場のシャドーワークの多さなどが課題。教育委員会を含めた横断的な取組も必要</li> <li>在宅医療や訪問サービスの人材不足が在宅看取りの減少にも影響している。地域で継続的に人材を育成・確保する仕組みづくりが必要</li> </ul>

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ① 「病床」単位

## 【福井地域 病院】

※ 診療項目のうち「新興感染症」とは、新興感染症発生・まん延時に感染症患者の受入病床を確保することをいう

※オレンジ色網掛けは、令和8年(2026年)3月末までに減床するもの

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目											
		高度急性期	急性期	回復期 (地域包括ケア病棟)	回復期 (リハビリ病棟)	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	施設等移行 介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他
1	大滝病院			○				132	0	0	132	0	0	0	132	0	0	132	0	0	0	0						○	○	○	内科、外科、リハビリテーション科、整形外科
2	福仁会病院					○		33	0	0	0	33	0	33	0	0	0	33	0	0	0							○	○	慢性疾患。感染患者は精神病床で受入れ	
3	安川病院			○		○		80	0	0	47	33	0	80	0	0	47	33	0	0	0	○	○	○	○	○		○	○	整形外科、神経内科	
4	岩井病院					○		200	0	40	20	140	0	200	0	40	20	140	0	0	0	○	○	○	○	○		○	○	肺炎、骨折、早期がん、難病	
5	さくら病院			○				63	0	10	19	34	0	63	0	10	19	34	0	0	0	○	○	○	○						
6	医療法人慈豊会 田中病院		○	○	○	○		148	0	22	30	96	0	148	0	22	30	96	0	0	0	○	○	○	○		○	○	○	外科、整形外科、内科	
7	福井大学医学部附属病院	○						559	369	190	0	0	0	559	369	190	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	脳神経外科、整形外科、感染症・膠原病内科、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、歯科、形成外科、眼科
8	福井厚生病院		○					158	0	74	84	0	0	158	0	74	84	0	0	0	0	○	○	○	○			○	○		
9	富永病院					○		42	0	0	0	42	0	42	0	0	0	42	0	0	0	○	○						○	○	内科
10	つくし野病院			○				69	0	27	20	22	0	69	0	27	20	22	0	0	0	○	○	○	○			○	○	○	整形外科、消化器外科・内科
11	福井循環器病院	○						165	60	104	0	0	1	161	60	100	0	0	1	0	4		○	○	○			○	○		
12	福井中央クリニック			○		○		50	0	0	20	30	0	47	0	0	17	30	0	0	3	○	○	○	○			○	○		
13	福井温泉病院					○		90	0	0	0	90	0	90	0	0	0	90	0	0	0	○	○	○	○				○	○	整形外科、内科(月・火・水のみ可)
14	福井県済生会病院	○						408	188	181	39	0	0	408	188	181	39	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	整形外科、内科
15	藤田記念病院		○					59	0	59	0	0	0	48	0	48	0	0	0	0	11								○	○	内科、泌尿器科
16	福井愛育病院		○					102	0	102	0	0	0	102	0	102	0	0	0	0	0					○	○	○	○	○	新興感染症、二次救急医療
17	福井リハビリテーション病院					○		47	0	0	0	31	16	40	0	0	0	31	9	0	7	○	○						○		
18	福井県立病院	○						551	60	471	20	0	0	541	60	461	20	0	0	0	10	○	○	○	○	○	○	○	○		
19	福井県こども療育センター					○	医療型障害児 入所施設としての機能	50	0	0	0	50	0	22	0	0	0	22	0	0	28								○		【外来】 神経発達症や肢体不自由のある小児の診療や療育 【医療型障害児入所施設】 小児整形外科疾患の術後の治療、短期集中療育、社会的養護児の生活支援 【短期入所施設(空床型)】 主に医療的ケアを必要とする障害児・者のレスパイト
20	福井総合病院		○					315	0	195	120	0	0	315	6	210	99	0	0	0	0	○	○	○	○			○	○	○	SCU整備のため高度急性期等に転換を計画。看護師など必要な人材確保が条件
21	福井赤十字病院	○						520	206	314	0	0	0	468	195	273	0	0	0	0	52	○	○	○	○	○	○	○	○	○	移植、内視鏡治療、整形外科領域
22	光陽生協病院			○				57	0	0	57	0	0	57	0	0	57	0	0	0	0	○	○	○	○				○	○	内科、リハビリテーション科
23	嶋田病院					○		117	0	0	117	0	0	117	0	0	117	0	0	0	0	○							○		
24	奥村病院			○				33	0	0	33	0	0	33	0	0	33	0	0	0	0	○	○	○				○	○	○	内科、外科、整形外科
病院計								4,048	883	1,789	758	601	17	3,933	878	1,738	734	573	10	0	115										

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ② 「病床」単位

【福井地域 有床診療所】 ※病院・有床診療所の合計を含む。

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向					機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目													
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	施設等移行 介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	吉水整形外科医院	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0										○	整形外科
2	本多レディースクリニック	○						17	0	17	0	0	0	17	0	17	0	0	0	0	0						○					
3	山内整形外科	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0									○	整形外科	
4	ホーカベレディースクリニック	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0									○	産科、婦人科、小児科	
5	中永医院	○						5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5			○					○	消化器科、内科		
6	福井総合クリニック				○			19	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0	0	0											
7	安土整形外科医院	○						19	0	14	4	1	0	19	0	17	2	0	0	0	0									○	整形	
8	大森整形外科リウマチ科	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0									○	整形外科	
9	駅東整形外科				○			19	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0	0	0									○	整形外科、リハビリテーション科	
10	久保田内科医院					○		19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	19											
11	つながるクリニック					○		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1									○		
12	まつむら眼科クリニック	○						2	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0									○	眼科	
13	福井はやし整形外科医院	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0									○	整形外科	
14	片山整形外科				○			19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	19	0	0	0											
15	ひらい内科消化器科医院				○			19	0	0	13	6	0	19	0	0	13	6	0	0	0		○									
16	あすわクリニック				○			19	0	0	3	16	0	19	0	0	3	16	0	0	0								○	内科、透折		
17	佐藤整形形成外科	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0							○				
18	高波耳鼻咽喉科医院					○		3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	3	0	0								○	耳鼻咽喉科		
19	齋藤眼科					○		6	0	6	0	0	6	6	0	6	0	0	0	0	0									○	白内障、網膜疾患	
20	打波外科胃腸科婦人科	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0	○								○	外科	
21	吉田医院	○						19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	内科、外科、整形外科
22	福島泌尿器科医院					○		15	0	0	0	0	15	15	0	0	0	0	15	0	0											
診療所計								334	0	191	59	42	42	309	0	194	56	41	18	0	25											
病院計								4,048	883	1,789	758	601	17	3,933	878	1,738	734	573	10	0	115											
診療所計								334	0	191	59	42	42	309	0	194	56	41	18	0	25											
合計								4,382	883	1,980	817	643	59	4,242	878	1,932	790	614	28	0	140											

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ③ 「病床」単位

## 【坂井地域 病院】

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向						令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目													
		高度急性性期	急性性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性性期	その他	補足	病床数合計	高度急性性期	急性性期	回復期	慢性性期	休床	病床数合計	高度急性性期	急性性期	回復期	慢性性期	休床	施設等移行	介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他
1	加納病院			○				40	0	0	40	0	0	40	0	0	40	0	0	0	0	0	○	○	○	○	○		○	○	○	整形外科、耳鼻咽喉科
2	藤田神経内科病院			○				40	0	0	40	0	0	40	0	0	40	0	0	0	0	○	○	○	○			○	○	○	内科、神経内科	
3	あわら病院			○		○		172	0	0	52	120	0	172	0	0	52	120	0	0	0	○	○	○	○	○			○	○	内科、神経内科（神経難病）、 総合診療科、小児科 慢性期120床は重症心身障がい 児（者）を受け入れ	
4	坂井市立三国病院			○				97	0	42	55	0	0	97	0	42	55	0	0	0	0	○	○		○	○	○	○	○	○	整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、消化器内科、内科	
5	宮崎病院				○			60	0	0	30	30	0	60	0	0	30	30	0	0	0	○			○				○			
6	木村病院		○					133	0	50	0	83	0	133	0	50	0	83	0	0	0	○	○	○	○				○	○		
7	春江病院		○					137	0	60	77	0	0	137	0	60	77	0	0	0	0	○	○	○	○				○	○	○	整形外科、消化器外科、内科
病院計								679	0	152	294	233	0	679	0	152	294	233	0	0	0											

## 【坂井地域 有床診療所】 ※病院・有床診療所の合計を含む。

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向						令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目														
		高度急性性期	急性性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性性期	その他	補足	病床数合計	高度急性性期	急性性期	回復期	慢性性期	休床	病床数合計	高度急性性期	急性性期	回復期	慢性性期	休床	施設等移行	介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	中瀬整形外科医院				○			19	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0	0	0									○	○	○	リハビリ、整形外科
2	東外科医院			○		○		19	0	1	5	13	0	19	0	1	5	13	0	0	0	○	○	○					○	○	○		
診療所計								38	0	1	24	13	0	38	0	1	24	13	0	0	0												
病院計								679	0	152	294	233	0	679	0	152	294	233	0	0	0												
診療所計								38	0	1	24	13	0	38	0	1	24	13	0	0	0												
合計								717	0	153	318	246	0	717	0	153	318	246	0	0	0												

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ④ 「病床」単位

## 【奥越地域 病院】

※オレンジ色網掛けは、令和8年(2026年)3月末までに減床するもの

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目											
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	介護保険 施設等移行	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他
1	福井勝山総合病院		○					199	0	158	41	0	0	199	0	158	41	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	腹部救急疾患、外傷、サブアキュート・ポストアキュート
2	広瀬病院			○				41	0	20	21	0	0	41	0	20	21	0	0	0	0			○	○				○		
3	阿部病院		○					37	0	37	0	0	0	37	0	37	0	0	0	0	0	○	○	○	○			○	○	呼吸器疾患	
4	尾崎病院					○		44	0	0	0	44	0	40	0	0	0	40	0	0	4	○	○	○	○				○	消化器科、循環器科、内科、呼吸器科、リハビリ科	
5	松田病院					○		49	0	0	0	49	0	49	0	0	0	49	0	0	0	○	○								
病院計								370	0	215	62	93	0	366	0	215	62	89	0	0	4										

## 【奥越地域 有床診療所】 ※病院・有床診療所の合計を含む。

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目											
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	介護保険 施設等移行	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他
1	勝山オレンジクリニック					○	無床にする予定	15	0	0	0	0	15	15	0	0	0	0	15	0	0										
2	芳野医院					○	緊急患者の初期対応や軽症患者への急性期医療提供 在宅・介護施設で急性増悪した患者の受入れ機能 急性期経過後の受入機能	19	0	19	0	0	0	19	0	19	0	0	0	0	0	○	○	○		○		○	○		
診療所計								34	0	19	0	0	15	34	0	19	0	0	15	0	0										
病院計								370	0	215	62	93	0	366	0	215	62	89	0	0	4										
診療所計								34	0	19	0	0	15	34	0	19	0	0	15	0	0										
合計								404	0	234	62	93	15	400	0	234	62	89	15	0	4										

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ⑤ 「病床」単位

## 【丹南地域 病院】

※オレンジ色網掛けは、令和8年(2026年)3月末までに減床するもの

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目															
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	施設等移行 介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足			
1	広瀬病院					○		126	0	0	32	94	0	126	0	0	32	94	0	0	0	○	○	○	○								内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、外科、人工透析外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、腹部外科、皮膚科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、婦人科、放射線科、麻酔科、歯科		
2	公立丹南病院	○						175	0	128	47	0	0	175	0	128	47	0	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
3	斎藤病院			○				80	0	0	50	30	0	69	0	0	41	28	0	0	11	○	○	○	○							レスパイト入院の受入れ、肺炎、尿路系疾患、骨折、白内障の治療、長期入院治療（療養病棟にて医療区分2～3の患者）			
4	今立中央病院				○			37	0	0	0	37	0	32	0	0	0	32	0	0	5	○	○	○	○							○			
5	木村病院			○				229	0	0	103	126	0	229	0	0	103	126	0	0	0	○	○	○	○							○	○		
6	越前町国民健康保険織田病院	○						55	0	27	28	0	0	55	0	27	28	0	0	0	0	○	○		○							○	○	○	整形外科
7	伊部病院				○			23	0	0	0	23	0	23	0	0	0	23	0	0	0	○	○	○	○							○	○	○	内科、泌尿器科
8	高野病院					○	全床休床中	34	0	0	0	0	34	34	0	0	0	0	34	0	0														
9	笠原病院			○				71	0	0	43	28	0	71	0	0	43	28	0	0	0	○	○	○	○							○			
10	池端病院			○		○		30	0	0	13	17	0	30	0	0	15	15	0	0	0	○	○	○	○	○						○			
11	高村病院			○				63	0	0	30	33	0	63	0	0	30	33	0	0	0	○	○	○											
12	林病院	○						199	0	45	154	0	0	199	0	45	154	0	0	0	0	○	○	○	○							○	○	○	
13	相木病院				○			34	0	0	0	34	0	34	0	0	0	34	0	0	0	○	○	○	○									○	皮膚科
14	中村病院	○	○					199	0	157	42	0	0	185	0	144	41	0	0	0	14	○	○	○	○	○						○	○	○	整形外科、泌尿器科、脳神経内科、麻酔科
病院計								1,355	0	357	542	422	34	1,325	0	344	534	413	34	0	30														

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ⑥ 「病床」単位

【丹南地域 有床診療所】 ※病院・有床診療所の合計を含む。

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目											
		高度急性期	急性期 (地域包括ケア病棟)	回復期 (リハビリ病棟)	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	施設等移行 介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	鯖江清水眼科	○					5	0	5	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0										○	眼科
2	越前外科内科医院				○		19	0	0	0	0	19	19	0	0	0	19	0	0	0									○	休床19床は人員確保を進めるなど再稼働を検討中(透析患者への対応等に活用)	
3	藤井医院					○ 外来診療のみ行う	19	0	0	0	0	19	19	0	0	0	0	19	0	0											
4	花岡医院						5	0	0	0	5	5	5	0	0	0	5	0	0												
5	南越前町国民健康保険今庄診療所		○				19	0	0	19	0	19	19	0	0	19	0	0	0	0				○				○	在宅移行期間中療養 在宅患者緊急時対応 コモン感染症(呼吸・尿路)入院加療 看取りの受け入れ(終末期医療)		
6	岩堀メディカルオフィス	○					19	0	2	0	0	17	19	0	2	0	0	17	0	0	○										
7	斎藤医院		○				19	0	0	19	0	19	19	0	0	19	0	0	0		○										
8	井元産婦人科医院	○					13	0	13	0	0	13	13	0	13	0	0	0	0							○					
9	鈴木クリニック	○					17	0	17	0	0	17	17	0	17	0	0	0	0							○					
10	東武内科外科クリニック	○					19	0	10	3	6	16	16	0	8	2	6	0	0	3	○	○	○	○	○		○				
診療所計							154	0	47	41	11	55	151	0	45	40	30	36	0	3											
病院計							1,355	0	357	542	422	34	1,325	0	344	534	413	34	0	30											
診療所計							154	0	47	41	11	55	151	0	45	40	30	36	0	3											
合計							1,509	0	404	583	433	89	1,476	0	389	574	443	70	0	33											

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ⑦ 「病床」単位

## 【二州地域 病院】

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目												
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	介護保険 施設等移行	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	市立敦賀病院	○	○					330	6	253	71	0	0	281	6	204	71	0	0	0	49	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	レイクヒルズ美方病院					○		100	0	0	24	76	0	100	0	0	24	76	0	0	0	○	○						○			
3	泉ヶ丘病院				○			116	0	39	44	33	0	116	0	39	44	33	0	0	0		○		○			○	○	○	整形	
4	敦賀医療センター		○					220	0	45	0	120	55	220	0	45	0	120	55	0	0	○			○	○			○	○	整形外科	
病院計								766	6	337	139	229	55	717	6	288	139	229	55	0	49											

## 【二州地域 有床診療所】 ※病院・有床診療所の合計を含む。

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目												
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	介護保険 施設等移行	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	和久野医院						○	大腸ポリペクトミー後の経過観察による入院	19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	19										
2	井上クリニック		○						18	0	18	0	0	0	18	0	18	0	0	0	0	0					○					
3	三宅眼科医院						○	白内障手術患者一泊入院	6	0	6	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	0										
診療所計								43	0	24	0	0	19	24	0	24	0	0	0	0	19											
病院計								766	6	337	139	229	55	717	6	288	139	229	55	0	49											
診療所計								43	0	24	0	0	19	24	0	24	0	0	0	0	19											
合計								809	6	361	139	229	74	741	6	312	139	229	55	0	68											

# <参考1> 医療機関ごとの対応方針の更新 ⑧ 「病床」単位

## 【若狭地域 病院】

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目												
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	施設等移行 介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	若狭高浜病院			○		○		90	0	0	40	50	0	90	0	0	40	50	0	0	0	○	○	○	○			○	○			
2	田中病院					○		60	0	0	0	60	0	60	0	0	0	60	0	0	0	○	○	○	○					○		
3	公立小浜病院	○	○				近隣医療機関の現状から、 高度急性期・急性期を主 な役割としたい	346	12	234	50	50	0	346	12	201	50	50	33	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	骨折などの外傷 骨折などの整形外科疾患
病院計								496	12	234	90	160	0	496	12	201	90	160	33	0	0											

## 【若狭地域 有床診療所】 ※病院・有床診療所の合計を含む。

No.	医療機関名	令和8(2026)年時点に担う主な役割の意向						機能別の病床数 令和7(2025)年7月1日時点					機能別の病床数 令和8(2026)年7月1日時点 意向							令和8(2026)年に担う役割の意向として該当する診療項目												
		高度急性期	急性期	(地域包括ケア病棟) 回復期	(リハビリ病棟) 回復期	慢性期	その他	補足	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	病床数合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	施設等移行 介護保険	廃止	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	小児	産科周産期	救急	新興感染症	その他	補足
1	若狭町国民健康保険 上中診療所					○		19	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0	0	0										○	骨折治療(手術・保守) 回復期リハ治療 慢性疾患急性増悪治療 急性疾患治療 看取り
2	おおい町保健・医療・ 福祉総合施設診療所					○		19	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0	0	0									○	一般感染症、リハビリ	
診療所計								38	0	0	38	0	0	38	0	0	38	0	0	0	0											
病院計								496	12	234	90	160	0	496	12	201	90	160	33	0	0											
診療所計								38	0	0	38	0	0	38	0	0	38	0	0	0	0											
合計								534	12	234	128	160	0	534	12	201	128	160	33	0	0											

全県	病院計 (57機関)							7,714	901	3,084	1,885	1,738	106	7,516	896	2,938	1,853	1,697	132	0	198											
	診療所計 (41機関)							641	0	282	162	66	131	594	0	283	158	84	69	0	47											
	合計 (98機関)							8,355	901	3,366	2,047	1,804	237	8,110	896	3,221	2,011	1,781	201	0	245											

# <参考1> 令和6年7月から令和7年7月の1年間で病床数、病床機能に変更があった医療機関

No.	構想 区域	医療機関名	令和6年（2024年）7月1日時点 機能別の病床数						令和7年（2025年）7月1日時点 機能別の病床数						相違点	地域医療構想に関する 補助事業の活用
			病床 数合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 床	病床 数合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 床		
1	福井	福井県済生会病院	456	188	229	39	0	0	408	188	181	39	0	0	病床数 456床 → 408床 急性期 229床 → 181床	病床機能再編支援事業（R7）
2	福井	福井リハビリテーション病院	47	0	0	0	47	0	47	0	0	0	31	16	慢性期 47床 → 31床 休床 0床 → 16床	
3	福井	安土整形外科医院	19	0	19	0	0	0	19	0	14	4	1	0	急性期 19床 → 14床 回復期 0床 → 4床 慢性期 0床 → 1床	
4	坂井	藤田神経内科病院	40	0	15	25	0	0	40	0	0	40	0	0	急性期 15床 → 0床 回復期 25床 → 40床	
5	奥越	広瀬病院	41	0	41	0	0	0	41	0	20	21	0	0	急性期 41床 → 20床 回復期 0床 → 21床	
6	奥越	阿部病院	42	0	42	0	0	0	37	0	37	0	0	0	病床数 42床 → 37床 急性期 42床 → 37床	病床機能再編支援事業（R6）
7	丹南	斎藤病院	90	0	0	50	40	0	80	0	0	50	30	0	病床数 90床 → 80床 慢性期 40床 → 30床	病床機能再編支援事業（R6）
8	丹南	木村病院	233	0	15	88	130	0	229	0	0	103	126	0	病床数 233床 → 229床 急性期 15床 → 0床 回復期 88床 → 103床 慢性期 130床 → 126床	
9	丹南	東武内科外科クリニック	19	0	19	0	0	0	19	0	10	3	6	0	急性期 19床 → 10床 回復期 0床 → 3床 慢性期 0床 → 6床	
10	二州	敦賀医療センター	220	0	86	0	120	14	220	0	45	0	120	55	急性期 86床 → 45床 休床 14床 → 55床	
全 県			8,421	901	3,533	1,980	1,827	180	8,355	901	3,366	2,047	1,804	237	病床数 △66床 高度急性期 ±0床 急性期 △167床 回復期 +117床 慢性期 △23床 休床 +57床	

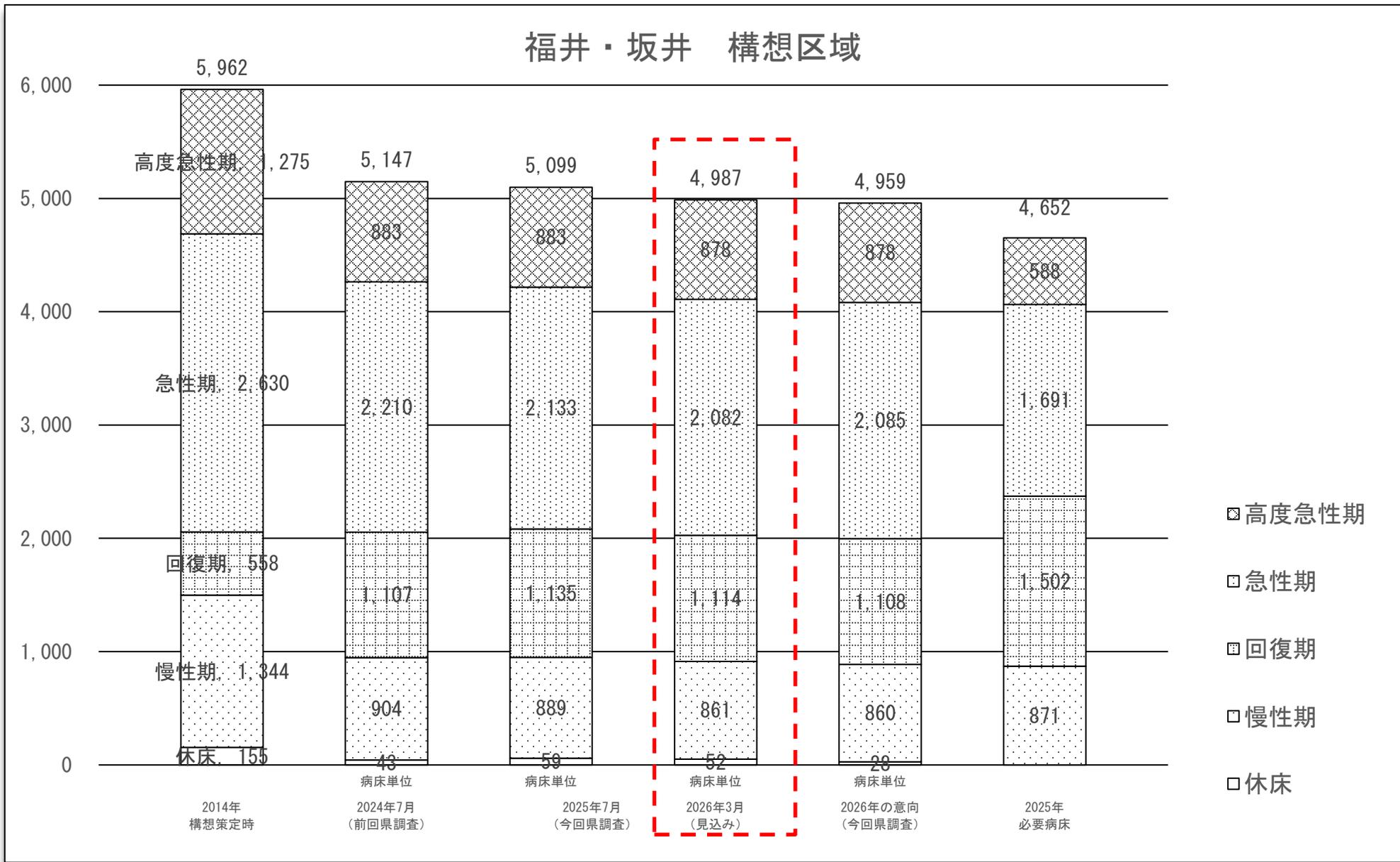
# <参考1> 令和8（2026）年の対応方針の病床数、病床機能に変更がある医療機関①

No.	構想 区域	医療機関名	対応方針 機能別の病床数 令和7（2025）年7月1日時点						対応方針 機能別の病床数 令和8（2026）年7月1日時点 意向						相違点	地域医療構想に関する 補助事業の活用	
			病床 数合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 床	病床 数合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 床			廃 止
1	福井	福井循環器病院	165	60	104	0	0	1	161	60	100	0	0	1	4	病床数 165床 → 161床 急性期 104床 → 100床 廃止 4床	
2	福井	福井中央クリニック	50	0	0	20	30	0	47	0	0	17	30	0	3	病床数 50床 → 47床 回復期 20床 → 17床 廃止 3床	
3	福井	藤田記念病院	59	0	59	0	0	0	48	0	48	0	0	0	11	病床数 59床 → 48床 急性期 59床 → 48床 廃止 11床	令和8年（2026年）3月末までに減床
4	福井	福井リハビリテーション病院	47	0	0	0	31	16	40	0	0	0	31	9	7	病床数 47床 → 40床 休床 16床 → 9床 廃止 7床	令和8年（2026年）3月末までに減床
5	福井	福井県立病院	551	60	471	20	0	0	541	60	461	20	0	0	10	病床数 551床 → 541床 急性期 471床 → 461床 廃止 10床	令和8年（2026年）3月末までに減床
6	福井	福井県こども療育センター	50	0	0	0	50	0	22	0	0	0	22	0	28	病床数 50床 → 22床 慢性期 50床 → 22床 廃止 28床	病床機能再編支援事業（R7） 令和8年（2026年）3月末までに減床
7	福井	福井総合病院	315	0	195	120	0	0	315	6	210	99	0	0	0	高度急性期 0床 → 6床 急性期 195床 → 210床 回復期 120床 → 99床	
8	福井	福井赤十字病院	520	206	314	0	0	0	468	195	273	0	0	0	52	病床数 520床 → 468床 高度急性期 206床 → 195床 急性期 314床 → 273床 廃止 52床	病床機能再編支援事業（R7） 令和8年（2026年）3月末までに減床
9	福井	安土整形外科医院	19	0	14	4	1	0	19	0	17	2	0	0	0	急性期 14床 → 17床 回復期 4床 → 2床 慢性期 1床 → 0床	
10	奥越	尾崎病院	44	0	0	0	44	0	40	0	0	0	40	0	4	病床数 44床 → 40床 慢性期 44床 → 40床 廃止 4床	令和8年（2026年）3月末までに減床

# <参考1> 令和8（2026）年の対応方針の病床数、病床機能に変更がある医療機関②

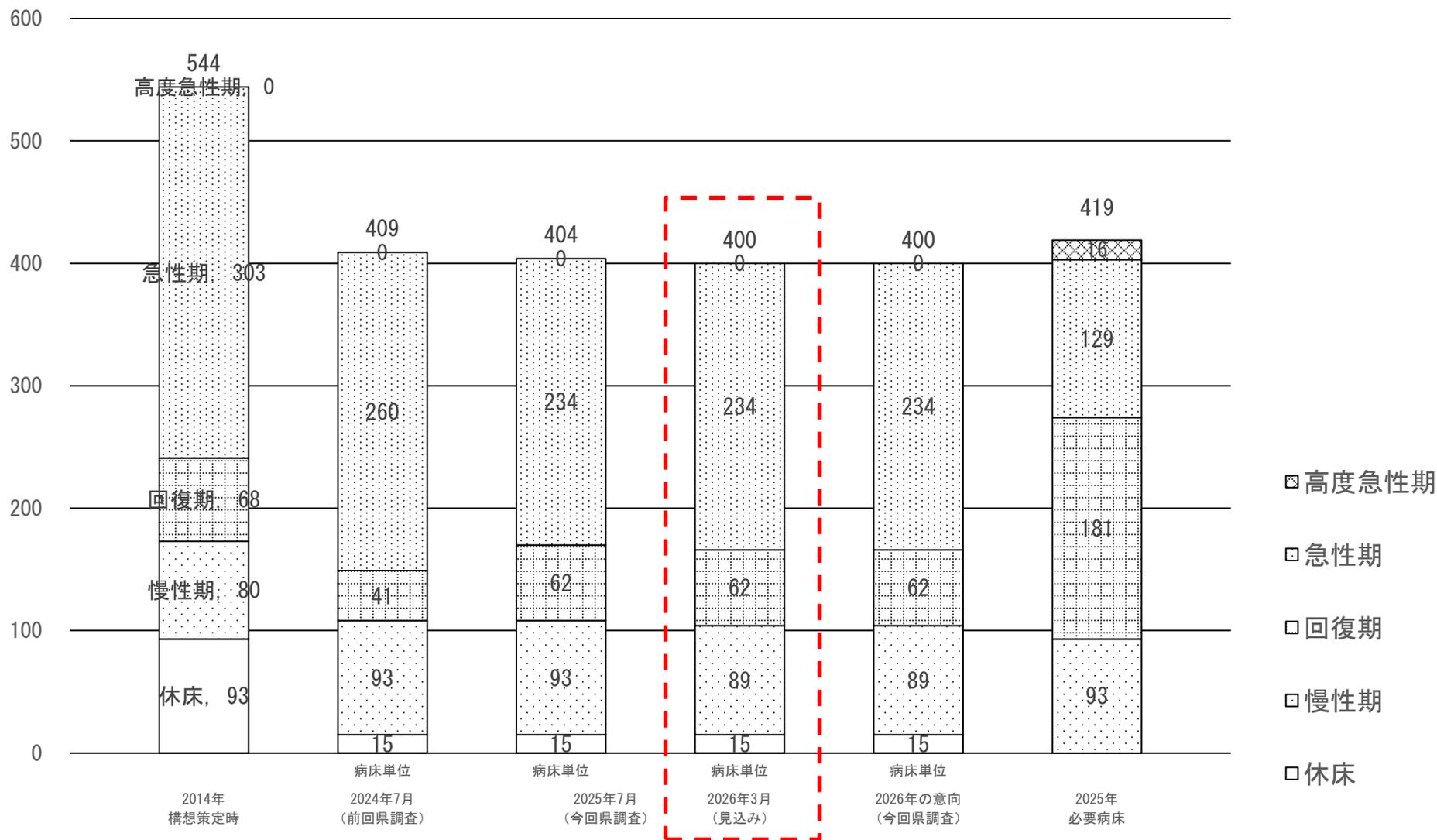
No.	構想 区域	医療機関名	対応方針 機能別の病床数 令和7（2025）年7月1日時点						対応方針 機能別の病床数 令和8（2026）年7月1日時点 意向							相違点	地域医療構想に関する 補助事業の活用
			病床 数合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 床	病床 数合計	高度 急性期	急性 期	回復 期	慢性 期	休 床	廃 止		
11	丹南	斎藤病院	80	0	0	50	30	0	69	0	0	41	28	0	11	病床数 80床 → 69床 回復期 50床 → 41床 慢性期 30床 → 28床 廃止 11床	令和8年（2026年）3月末までに減床
12	丹南	今立中央病院	37	0	0	0	37	0	32	0	0	0	32	0	5	病床数 37床 → 32床 慢性期 37床 → 32床 廃止 5床	令和8年（2026年）3月末までに減床
13	丹南	池端病院	30	0	0	13	17	0	30	0	0	15	15	0	0	回復期 13床 → 15床 慢性期 17床 → 15床	
14	丹南	中村病院	199	0	157	42	0	0	185	0	144	41	0	0	14	病床数 199床 → 185床 急性期 157床 → 144床 回復期 42床 → 41床 廃止 14床	令和8年（2026年）3月末までに減床
15	丹南	越前外科内科医院	19	0	0	0	0	19	19	0	0	0	19	0	0	慢性期 0床 → 19床 休床 19床 → 0床	
16	丹南	東武内科外科クリニック	19	0	10	3	6	0	16	0	8	2	6	0	3	病床数 19床 → 16床 急性期 10床 → 8床 回復期 3床 → 2床 廃止 3床	
17	二州	市立敦賀病院	330	6	253	71	0	0	281	6	204	71	0	0	49	病床数 330床 → 281床 急性期 253床 → 204床 廃止 49床	
18	二州	和久野医院	19	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	19	無床化	
19	若狭	公立小浜病院	346	12	234	50	50	0	346	12	201	50	50	33	0	急性期 234床 → 201床 休床 0床 → 33床	
全 県			8,355	901	3,366	2,047	1,804	237	8,110	896	3,221	2,011	1,781	201	245	病床数 △245床 高度急性期 △ 5床 急性期 △145床 回復期 △ 36床 慢性期 △ 23床 休床 △ 36床	

# <参考1> 対応方針の評価（福井・坂井構想区域）



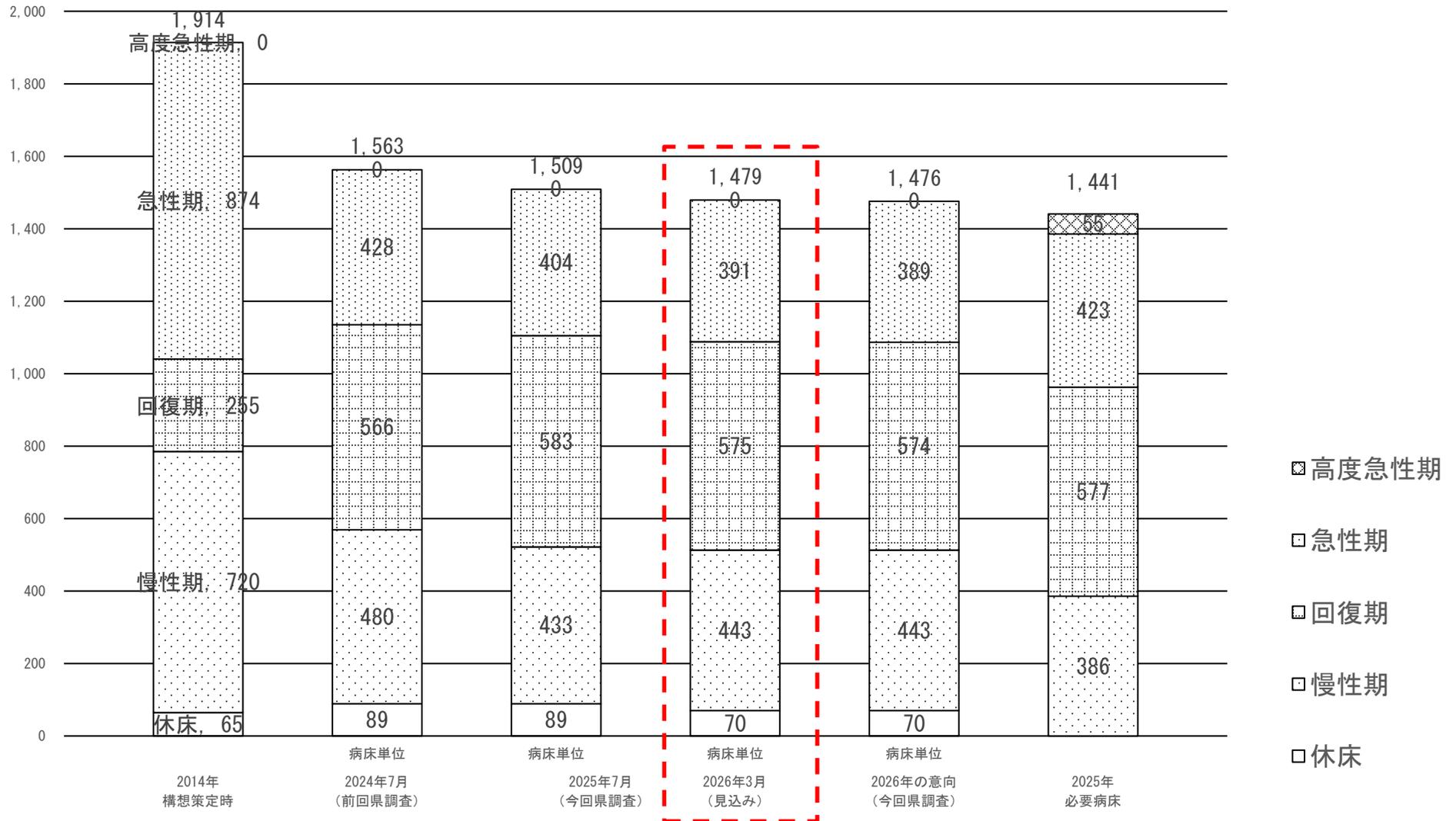
# <参考1> 対応方針の評価（奥越構想区域）

## 奥越 構想区域

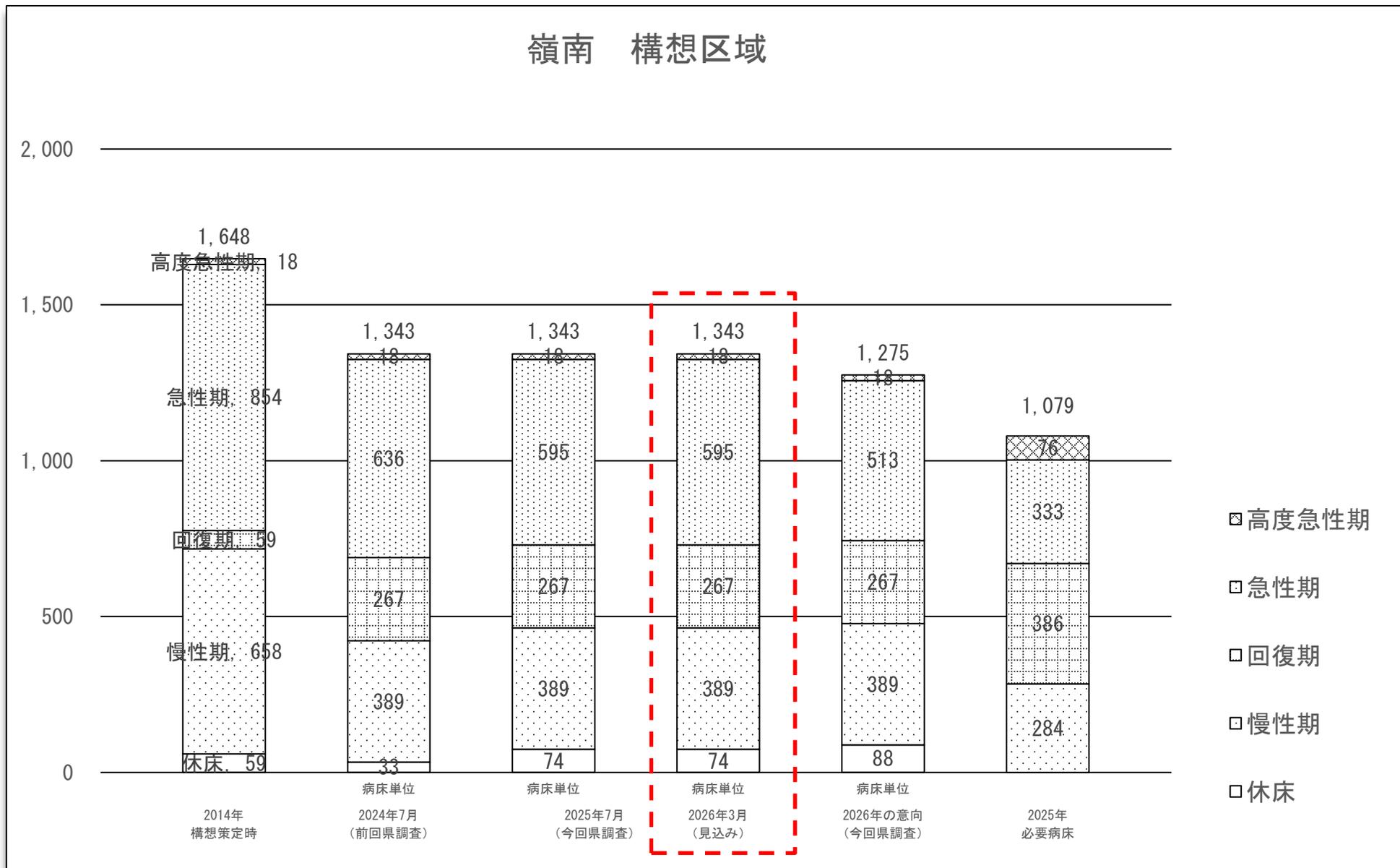


# <参考1> 対応方針の評価（丹南構想区域）

## 丹南 構想区域



# <参考1> 対応方針の評価（嶺南構想区域）



# <参考2> 令和7年度 外来機能報告 結果概要 (福井地域・病院)

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上  
 ※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【福井地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
大滝病院	病院	福井・坂井	132	無			4,112	651	15.8	16,792	2,017	12.0	5,424	674	755	12.4	13.9
福仁会病院	病院	福井・坂井	33	無			569	155	27.2	20,778	413	2.0	602	324	0	53.8	0.0
安川病院	病院	福井・坂井	80	無			1,925	293	15.2	12,677	788	6.2	2,026	210	0	10.4	0.0
医療法人岩井病院	病院	福井・坂井	200	無			914	141	15.4	11,437	652	5.7	0	0	0	0.0	0.0
さくら病院	病院	福井・坂井	63	無			1,271	177	13.9	10,635	732	6.9	1,415	104	0	7.3	0.0
田中病院	病院	福井・坂井	148	無			1,866	336	18.0	19,339	2,081	10.8	2,149	307	0	14.3	0.0
福井大学医学部附属病院	病院	福井・坂井	559	有	○	○	13,880	8,579	61.8	197,471	57,563	29.2	14,974	13,277	11,013	88.7	73.5
福井厚生病院	病院	福井・坂井	158	無			8,532	2,896	33.9	102,855	18,097	17.6	10,247	1,933	3,500	18.9	34.2
富永病院	病院	福井・坂井	42	無			196	20	10.2	5,041	180	3.6	186	0	19	0.0	10.2
つくし野病院	病院	福井・坂井	91	無			2,042	372	18.2	21,616	2,405	11.1	2,207	275	380	12.5	17.2
福井循環器病院	病院	福井・坂井	165	有		○	3,844	2,980	77.5	39,430	8,442	21.4	4,265	2,852	4,246	66.9	99.6
福井中央クリニック	病院	福井・坂井	50	無			1,003	138	13.8	24,013	1,242	5.2	1,056	65	307	6.2	29.1
福井温泉病院	病院	福井・坂井	90	無			321	18	5.6	9,000	157	1.7	447	3	125	0.7	28.0
福井県済生会病院	病院	福井・坂井	408	有	○	○	14,221	8,846	62.2	183,638	71,885	39.1	14,997	10,323	17,026	68.8	113.5
藤田記念病院	病院	福井・坂井	59	無			2,232	0	0.0	35,247	0	0.0	2,303	111	914	4.8	39.7
福井愛育病院	病院	福井・坂井	102	無			16,972	1,032	6.1	37,217	5,253	14.1	3,151	756	75	24.0	2.4
福井リハビリテーション病院	病院	福井・坂井	47	無			75	1	1.3	1,023	20	2.0	73	0	17	0.0	23.3
福井県立病院	病院	福井・坂井	551	有	○	○	18,373	11,793	64.2	165,166	56,339	34.1	16,650	15,718	19,921	94.4	119.6
福井県こども療育センター	病院	福井・坂井	50	有			1,156	76	6.6	19,921	390	2.0	1,012	973	330	96.1	32.6
福井総合病院	病院	福井・坂井	315	有	○		1,861	904	48.6	7,952	3,269	41.1	4,077	1,226	2,335	30.1	57.3
福井赤十字病院	病院	福井・坂井	522	有	○	○	16,006	9,616	60.1	168,809	57,324	34.0	16,133	12,017	15,423	74.5	95.6
光陽生協病院	病院	福井・坂井	57	無			136	5	3.7	50	3	6.0	138	0	6	0.0	4.3
嶋田病院	病院	福井・坂井	117	無			0	0	0.0	0	0	0.0	1,546	329	322	21.3	20.8
奥村病院	病院	福井・坂井	33	無			1,243	330	26.5	8,398	655	7.8	1,310	211	597	16.1	45.6

# <参考2> 令和7年度 外来機能報告 結果概要 (福井地域・診療所)

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上  
 ※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【福井地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
吉水整形外科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			6,010	408	6.8	22,386	612	2.7	0	0	0	0.0	0.0
本多レディースクリニック	有床診療所	福井・坂井	17	無			1,861	426	22.9	8,319	666	8.0	0	0	0	0.0	0.0
山内整形外科	有床診療所	福井・坂井	19	無			6,024	798	13.2	45,392	2,330	5.1	0	0	0	0.0	0.0
ホーカレレディースクリニック	有床診療所	福井・坂井	19	無			1,500	177	11.8	2,769	296	10.7	430	5	46	1.2	10.7
中永医院	有床診療所	福井・坂井	5	無			47	0	0.0	1,414	20	1.4	0	0	0	0.0	0.0
福井総合クリニック	有床診療所	福井・坂井	19	無			12,305	4,432	36.0	132,211	20,277	15.3	15,397	3,247	3,462	21.1	22.5
安土整形外科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			1,904	199	10.5	16,199	1,216	7.5	0	0	0	0.0	0.0
大森整形外科リウマチ科	有床診療所	福井・坂井	19	無			2,974	441	14.8	27,931	3,256	11.7	0	0	0	0.0	0.0
駅東整形外科	有床診療所	福井・坂井	19	無			1,656	103	6.2	18,408	275	1.5	0	0	0	0.0	0.0
久保田内科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			150	1	0.7	2,853	41	1.4	0	0	0	0.0	0.0
つながるクリニック	有床診療所	福井・坂井	1	無			2,586	36	1.4	4,317	70	1.6	0	0	0	0.0	0.0
まつむら眼科クリニック	有床診療所	福井・坂井	2	無			3,353	130	3.9	14,981	1,839	12.3	3,353	283	0	8.4	0.0
宮崎整形外科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			5,091	1,030	20.2	62,470	6,488	10.4	5,241	0	0	0.0	0.0
片山整形外科	有床診療所	福井・坂井	19	無			6,925	940	13.6	44,466	1,461	3.3	0	0	0	0.0	0.0
ひらい内科消化器科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			7,661	361	4.7	39,958	1,593	4.0	0	0	0	0.0	0.0
あすわクリニック	有床診療所	福井・坂井	19	無			1,832	19	1.0	17,488	14,773	84.5	0	0	0	0.0	0.0
佐藤整形形成外科	有床診療所	福井・坂井	19	無			4,959	702	14.2	27,005	1,503	5.6	0	0	0	0.0	0.0
高波耳鼻咽喉科医院	有床診療所	福井・坂井	3	無			1,187	250	21.1	1,793	31	1.7	0	0	0	0.0	0.0
齋藤眼科	有床診療所	福井・坂井	6	無			4,323	213	4.9	12,232	1,415	11.6	0	0	0	0.0	0.0
打波外科胃腸科婦人科	有床診療所	福井・坂井	19	無			2,683	520	19.4	19,270	1,091	5.7	2,693	0	0	0.0	0.0
吉田医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			2,509	108	4.3	13,145	446	3.4	0	0	0	0.0	0.0
福島泌尿器科医院	有床診療所	福井・坂井	15	無			973	110	11.3	6,341	2,279	35.9	0	0	0	0.0	0.0

# <参考2> 令和7年度 外来機能報告 結果概要 (坂井地域、奥越地域)

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上

※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【坂井地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
加納病院	病院	福井・坂井	40	無			4,497	357	7.9	8,345	421	5	3,977	24	190	0.6	4.8
藤田神経内科病院	病院	福井・坂井	40	無			1,214	0	0.0	7,025	0	0.0	1,214	218	281	18.0	23.1
あわら病院	病院	福井・坂井	172	無			757	152	20.1	5,956	557	9.4	761	187	407	24.6	53.5
坂井市立三国病院	病院	福井・坂井	97	無			10,423	1,450	13.9	49,894	11,525	23.1	11,782	1,085	875	9.2	7.4
宮崎病院	病院	福井・坂井	60	無			1,397	169	12.1	13,762	670	4.9	1,552	46	48	3.0	3.1
木村病院	病院	福井・坂井	133	無			7,583	1,688	22.3	61,901	11,468	18.5	7,902	1,675	1,353	21.2	17.1
春江病院	病院	福井・坂井	137	無			8,816	2,884	32.7	70,687	13,938	19.7	8,898	1,789	2,139	20.1	24.0
中瀬整形外科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			3,474	735	21.2	16,016	1,262	7.9	0	0	0	0.0	0.0
東外科医院	有床診療所	福井・坂井	19	無			1,327	93	7.0	8,138	189	2.3	1,344	187	114	13.9	8.5

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上

※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【奥越地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
福井勝山総合病院	病院	奥越	199	無			12,726	2,540	20.0	95,337	21,993	23.1	20,460	3,628	2,692	17.7	13.2
広瀬病院	病院	奥越	41	無			554	89	16.1	15,882	1,049	6.6	562	49	182	8.7	32.4
阿部病院	病院	奥越	37	無			820	178	21.7	16,615	1,230	7.4	820	120	302	14.6	36.8
尾崎病院	病院	奥越	44	無			489	86	17.6	8,773	425	4.8	538	0	0	0.0	0.0
松田病院	病院	奥越	49	無			1,964	166	8.5	19,342	315	1.6	2,051	260	216	12.7	10.5
勝山オレンジクリニック	有床診療所	奥越	15	無			393	7	1.8	3,470	45	1.3	428	0	0	0.0	0.0
芳野医院	有床診療所	奥越	19	無			2,791	277	9.9	21,846	1,465	6.7	0	0	0	0.0	0.0

# <参考2> 令和7年度 外来機能報告 結果概要 (丹南地域)

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上

※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【丹南地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査					参考水準					
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合 (%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合 (%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)
広瀬病院	病院	丹南	126	無			3,338	543	16.3	36,036	5,067	14.1	3,078	118	344	3.8	11.2
公立丹南病院	病院	丹南	175	無			21,591	5,442	25.2	99,943	24,352	24.4	22,048	2,437	2,884	11.1	13.1
斎藤病院	病院	丹南	80	無			7,175	470	6.6	22,438	1,619	7.2	5,106	380	265	7.4	5.2
今立中央病院	病院	丹南	37	無			894	97	10.9	9,320	426	4.6	919	198	42	21.5	4.6
木村病院	病院	丹南	229	無			5,045	964	19.1	31,006	2,818	9.1	4,027	325	660	8.1	16.4
越前町国民健康保険織田病院	病院	丹南	55	無			7,444	1,111	14.9	38,130	6,256	16.4	8,533	570	589	6.7	6.9
伊部病院	病院	丹南	23	無			3,310	41	1.2	16,303	204	1.3	3,214	72	206	2.2	6.4
高野病院	病院	丹南	34	無			902	81	9.0	10,257	369	3.6	0	0	0	0.0	0.0
笠原病院	病院	丹南	71	無			1,395	152	10.9	9,849	607	6.2	1,446	102	14	7.1	1.0
池端病院	病院	丹南	30	無			2,353	153	6.5	8,619	445	5.2	2,303	217	277	9.4	12.0
高村病院	病院	丹南	63	無			1,545	182	11.8	19,375	904	4.7	0	0	0	0.0	0.0
林病院	病院	丹南	199	無			7,623	2,435	31.9	62,534	16,056	25.7	8,971	2,100	2,467	23.4	27.5
相木病院	病院	丹南	34	無			4,555	154	3.4	16,395	306	1.9	4,580	243	0	5.3	0.0
中村病院	病院	丹南	199	無			15,102	3,503	23.2	72,222	17,872	24.7	15,834	2,332	1,602	14.7	10.1
鯖江清水眼科	有床診療所	丹南	5	無			5,119	350	6.8	19,214	1,986	10.3	0	0	0	0.0	0.0
越前外科内科医院	有床診療所	丹南	19	無			164	14	8.5	3,383	1,410	41.7	0	0	0	0.0	0.0
藤井医院	有床診療所	丹南	19	無			2,497	17	0.7	5,901	49	0.8	2,470	28	0	1.1	0.0
花岡医院	有床診療所	丹南	5	無			79	0	0.0	808	0	0.0	0	0	0	0.0	0.0
南越前町国民健康保険今庄診療所	有床診療所	丹南	19	無			1,019	86	8.4	8,835	522	5.9	0	0	0	0.0	0.0
岩堀メディカルオフィス	有床診療所	丹南	19	無			3,937	305	7.7	9,739	338	3.5	1,149	0	0	0.0	0.0
斎藤医院	有床診療所	丹南	19	無			29	0	0.0	235	11	4.7	33	18	1	54.5	3.0
井元産婦人科医院	有床診療所	丹南	13	無			1,809	703	38.9	1,740	135	7.8	0	0	0	0.0	0.0
鈴木クリニック	有床診療所	丹南	17	無			1,615	294	18.2	4,561	363	8.0	0	0	0	0.0	0.0
東武内科外科クリニック	有床診療所	丹南	19	無			3,553	267	7.5	23,766	1,031	4.3	3,654	0	0	0.0	0.0

# <参考2> 令和7年度 外来機能報告 結果概要 (二州地域、若狭地域)

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上

※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【二州地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
市立敦賀病院	病院	嶺南	330	無			12,307	4,772	38.8	106,492	34,595	32.5	10,194	3,312	5,198	32.5	51.0
レイクヒルズ美方病院	病院	嶺南	100	無			2,526	218	8.6	10,887	587	5.4	3,367	512	542	15.2	16.1
泉ヶ丘病院	病院	嶺南	116	無			660	255	38.6	13,464	8,409	62.5	731	248	0	33.9	0.0
敦賀医療センター	病院	嶺南	220	無		○	4,293	2,111	49.2	30,523	5,031	16.5	4,332	2,345	2,382	54.1	55.0
和久野医院	有床診療所	嶺南	19	無			1,108	36	3.2	13,217	215	1.6	0	0	0	0.0	0.0
井上クリニック	有床診療所	嶺南	18	無			2,157	415	19.2	6,087	466	7.7	0	0	0	0.0	0.0
三宅眼科医院	有床診療所	嶺南	6	無			1,045	57	5.5	6,493	860	13.2	726	0	0	0.0	0.0

※ 基準：重点外来が初診外来の40%以上かつ再診の25%以上

※ 参考水準：紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上

## 【若狭地域】

医療機関名称	種別	医療圏	病床数	意向の有無	基準適合	参考水準適合	紹介受診重点外来医療機関 基準適合の審査						参考水準				
							初診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	再診の外来の患者延べ数	うち、紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の外来の患者延べ数に対する割合(%)	初診患者数	紹介患者数	逆紹介患者数	紹介率(%)	逆紹介率(%)
							(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(%)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)	(R6年4月～R7年3月)
若狭高浜病院	病院	嶺南	90	無			3,090	605	19.6	23,030	4,350	18.9	2,029	342	879	16.9	43.3
田中病院	病院	嶺南	60	無			1,360	0	0.0	4,590	0	0.0	1,317	23	20	1.7	1.5
公立小浜病院	病院	嶺南	346	無			12,789	3,879	30.3	124,405	36,520	29.4	15,399	3,555	4,371	23.1	28.4
若狭町国民健康保険上中診療所	有床診療所	嶺南	19	無			1,070	103	9.6	10,815	534	4.9	0	0	0	0.0	0.0
おおい町保健・医療・福祉総合施設診療所	有床診療所	嶺南	19	無			2,628	201	7.6	10,129	509	5	0	0	0	0.0	0.0